**中国メーカー、家庭用ゲーム機「戦斧Ｆ１」販売**

【北京＝鎌田秀男】中国のゲームメーカー「斧子科技」は１１日、自主開発した家庭用ゲーム機「戦斧Ｆ１」の一般販売を始めた。

　中国市場では日本製や米国製のゲーム機が圧倒的な存在感を誇っており、これまで国産ゲーム機はほとんどなかった。中国メーカーが巻き返せるかが注目される。

　戦斧は「廉価版」が８９９元（約１万４０００円）。ソニー・インタラクティブエンタテインメントの「プレイステーション４」の約３分の１という手頃な価格が魅力だ。今年は２０万台の販売を目指す。

　ゲームソフトは１本３０元（約４８０円）前後でインターネットからダウンロードできる。発売に合わせ、日本でも人気のアクションゲーム「三国無双」など２１のソフトをそろえた。